

# セイブ通信 2012年1月号第3世紀No. 53

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市宇清道309-13 電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 新年明けましておめでとうございます



●旧年中は大変お世話になり、誠に有難うございました。今年も相変わりませず、宜しくご愛顧の程お願い申し上げます。おかげ様でセイブ通信も22年目に入ります。実は20周年、通算240号で若い人が作る「ホームページ」に移行しようと考えていましたが、少し手間がかかり、ようやく公開の運びとなりました。「www.seibu-living.co.jp」ですので、是非お立ち寄り下さい。

●2009年12月から、NHKのドラマ・スペシャルとして放映された司馬遼太郎の「坂の上の雲」が、昨年末に完結しました。3年に渡って放送する番組も余り無かったのではないかと。松山放送局伊達広報部長は良く考えられ、「この物語を経営資源として活かし、『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくりを推進している松山市」に大いに貢献されたと想像します。本当に、「良く引っ張った」という感じです。

●舞鶴も旧・海軍鎮守府（現・海上自衛隊総監部）に東郷平八郎が長官として赴任し、日本海海戦で弟の秋山真之が参謀として参加したことで、ロケにも使われたようです。エンディングタイトルの中に、「舞鶴市のみなさん」とありましたから、何人かの方々エキストラとして出演されたようです。

●兄の秋山好古は陸軍騎兵を指揮していましたが、退任後は現・松山北高校である「県立北予中学校」の校長になり、発行者の母校でもある、隣の旧・松山高等商業学校の開校式に出席し、その写真が残っています。司馬遼太郎は、決して豊かではなかったが、これらの楽天的な明治の人たちの力によって日本という国が、地位を得ることが出来た、と言います。この物語の評価はいろいろありますが、楽天的に素直に、この国や社会の未来を考えることは大切です。問題は、現在では多くの利害が複雑に絡んでいることです。

## 愛媛の伊予柑受付中

●例年通り「伊予柑」の注文を受け付けます。配達は糖度が引き立つ2月。大きさは2L、品質は「秀」。10kg入と18玉入（約5kg）の2種類。その他に「デコボン」2L、20玉入。「はるみ」、5kg入も受け付けております。地方発送も承ります。是非ご下命下さい。

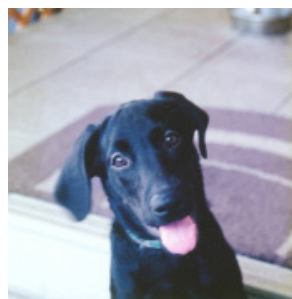


## ベンジャミン

●拙宅11歳のラブラドルリトリバの老犬ベン、1年ほど前に左後足を骨折。大変痛そうでした。治りが遅いのでよく調べると骨肉腫。肺への転移の可能性は告知されました。脱脚し三本足でしたがむしろ元気になっていました。昼寝をしていればベンは横に添って寝ます。

●一二度めまいの症状を起こし、脳への転移も心配しましたが、「メニエル」の様で、薬を処方され持ち直し、一安心していました。12月22日家で昼食をしている時に、小用で庭に下りましたが、帰りに立てなくなった。すぐに抱きかかえて縁側に置きましたが、目が空ろになり三度ばかり大きな息をすると、呼吸もせず心臓の動きも停止しました。

●23日に茶毘に付しましたが、その間、多くのワンコ仲間の弔問を受け、花一杯になりました。なるほど人（犬）柄が良かったのだと納得しました。写真はまだ家に来て間もない1歳頃、近所のTさんが取ってくれたものですが、動かなくなったベンを良く見ると白髪のひげが多くありました。



●事務所の蛍光灯、古いのをLED電球にしました。御下命下さい。

●「人間は裏切るが、犬は不変唯一の友」とのこと。（正）

# セイブ通信 2012年2月号第3世紀No. 54

発行者 セイブリング株式会社 森下 正 舞鶴市字清道309-13 電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 豪雪



午前7時44分国道27号「大手」南進中

●1月24日朝は「大渋滞」。久しぶりの膝まで大雪で、発行者も乗用車で通勤するのを断念、社員の真下伸二の乗る四輪駆動の軽自動車に同乗させて貰うことにしました。国道27号線を京都銀行西舞鶴支店から東進するのに同乗しようとしましたが、京銀から南進、白鳥街道を目指しました。

●写真右側綾部方面から京銀西舞鶴支店、東舞鶴に向う国道27号線は、大型トラックを始めとして動く気配がありません。前方には大型除雪車が、一旦車列から外れました。もう一本東側の舞鶴グランドホテルから「かまどや」に到る三の丸通りも北進方面は動きませんでした。

●白鳥街道をそれでも少しずつ前進していましたが、日赤病院前二ツ橋のところで下車、徒歩で清道の会社を目指しました。既に徒歩で移動する人たちが増えていましたが、踏み締めた道は一本道で、所によっては雪の壁が出来ていました。全社員概ね3時間を掛けて会社にたどり着きました。

●結局これほどの大渋滞を招いたのは、泉源寺付近でノーマルタイヤを履いた大型トラックの走行不能を発端に、国道の通行止が行われ、「糞詰まり」状態で、舞鶴市内に車が流入、交通網がパンクした、と言うことになります。

●この豪雪を招いた大寒気団が2月2日に掛けて更に大雪を降らせるとのこと。会社用の除雪用具を買い増しましたが、一部の商品には品切れが出ていました。いずれにしても油断をして備えを怠った為に、更に大きな問題を引き起こした、と言う点では得るべきことがあったと言えます。

●同時期にNTTドコモの携帯電話網がパンク、電話やメールが出来なくなりました。便利なスマートフォンが増え、それに伴って通信量が爆発的に増加したことが原因だったようですが、対応は遅れているようです。同様に青森六ヶ所村の放射性廃棄物の処理も糞詰まりなのに電化は問題です。

●今朝は凍結が厳しく、トレッキング用の杖を突いて歩きました。毎日除雪をする社員はウエストが細くなったようだ、とのこと。この際メールは葉書で書き、節電をしましょう。

## 草間弥生

●1月11日大阪駅近くのホテルで会合。電車で行くのは久しぶりで、新しくなった大阪駅をお登りさん気分で見学。前は雑然としていましたが、大変おしゃれ。一寸構内のカフェへ。最近は無線Lan(無料のインターネット接続電波網)が完備されているので、若い人たちはここでスマートフォンやタブレット型コンピュータを使うのが常のようです。



●会合後、徒歩で行ける近所の「大阪国立国際美術館」で「草間弥生」の「永遠の永遠の永遠」展が開かれていたの



許可を得て撮った写真

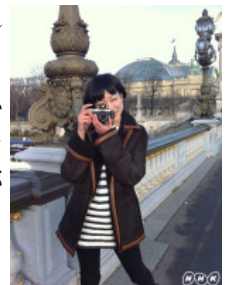
で立ち寄りました。草間さんは昭和4年生まれ82歳の芸術家。現在も創作活動に没頭、死ぬまで描き続けるらしい。近年は水玉(ドット)をモチーフに製作、「耳なし芳一」が全身にお経を書いたように、彼

女自身を守るために描いたらしい。4月8日まで開催、機会があればお立ち寄り下さい。

## 緒川たまき

●発行者の崇拜する女優さんですが、ドイツのカメラ、ライカを使用しています。知る限り一眼レフの中古を使用していました。最近ではデジタルカメラのX-1を使っている様子。先日、日本の先駆的写真家木村伊兵衛が1954年、富士フィルムの開発中のカラーフィルムでバリを撮った足跡を追う番組(NHK日曜美術館)をしていました。録画も取って見ましたが良かった。

●先行していたアメリカの超大フィルムメーカー、イーストマン・コダック社は先日、破産法の適用を申請。木村さんが使ったフィルムの感度はASA10。デジカメでは撮れない色が写っていた。



■伊予柑(2L秀品10kg4,935円)、はるみ(2L赤秀5kg4,200円)、ハウスデコポン(2L赤秀5kg4,830円)を2月中は出荷予定です。是非お問い合わせ下さい。●光ファイバー通信について、NTT西日本フレッツ光とイオ光が宣伝合戦をしています。条件によってはこちらが安い、あちらが高い、と言うことになるのでしょうか。お互い都合の良い事しか言わないのが世の常です。比較は難しい。一旦イオ光にしてフレッツ光に変わる方も、その逆も同様にあります。いずれにしても電話回線による集中安全監視の対応にはその都度お伺いしています。変更された場合は必ず御連絡下さい。(正)